

---

# C事業 事前チェックの手順と注意点

---

2024年4月1日



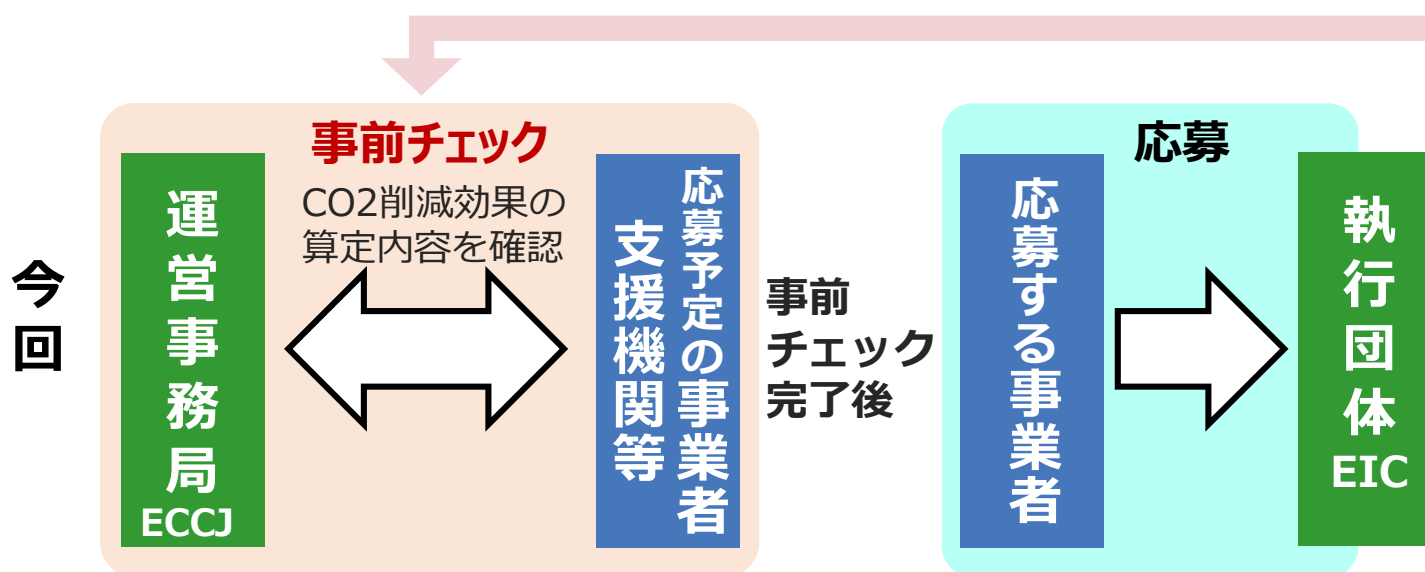
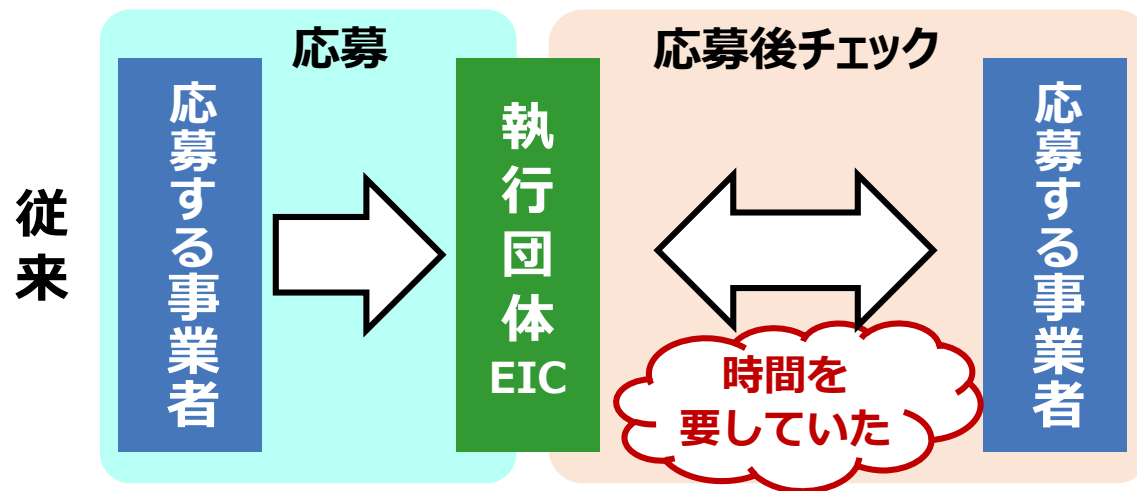
## はじめに

1. 事前チェックのフロー
2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象
3. 事前チェックに要する目安期間
4. 留意事項

# はじめに

SHIFT事業 省CO2型設備更新支援「C.中小企業事業」へ応募する前に、実施計画書の**事前チェック**を行うこととなります。

- 応募前にチェックを受けながら実施計画書を完成させていくことができます。
- 応募後、工事着手等を迅速にできます。



# 1. 事前チェックのフロー

応募予定の事業者  
支援機関等

SHIFT事業 運営事務局  
(省エネルギーセンター)

①実施計画書等の作成

②事前チェック申込

④実施計画書等の提出

⑦実施計画書の修正等  
(指摘事項への対応)

③申込受付

ファイル転送サービス案内

⑤実施計画書の内容確認

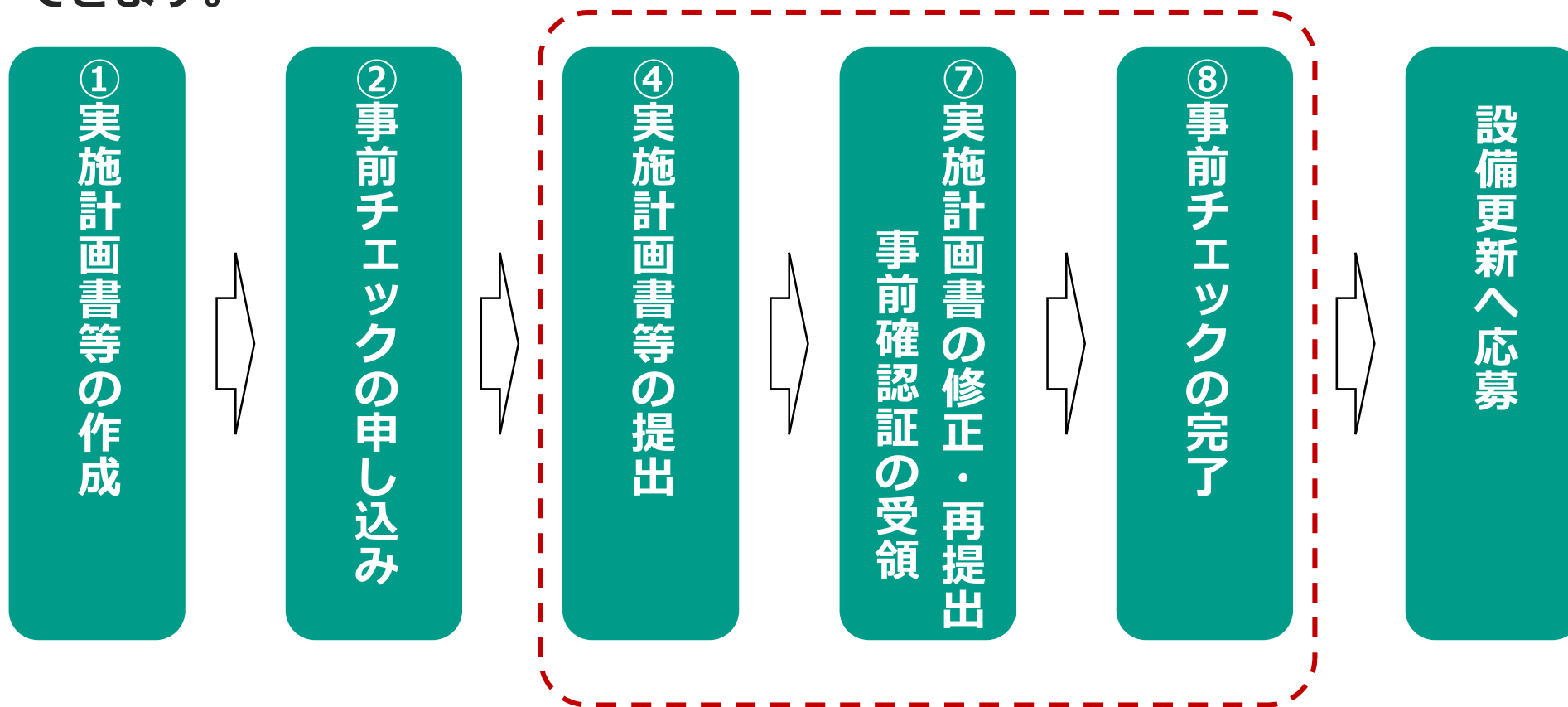
⑥事前確認証の返却  
(指摘事項の明示)

※必要に応じて④～⑦を繰り返す

⑧事前チェックの完了 (CO2削減効果に影響を与える可能性のある指摘事項がない)

## 1. 事前チェックのフロー 事業者等の実施フロー

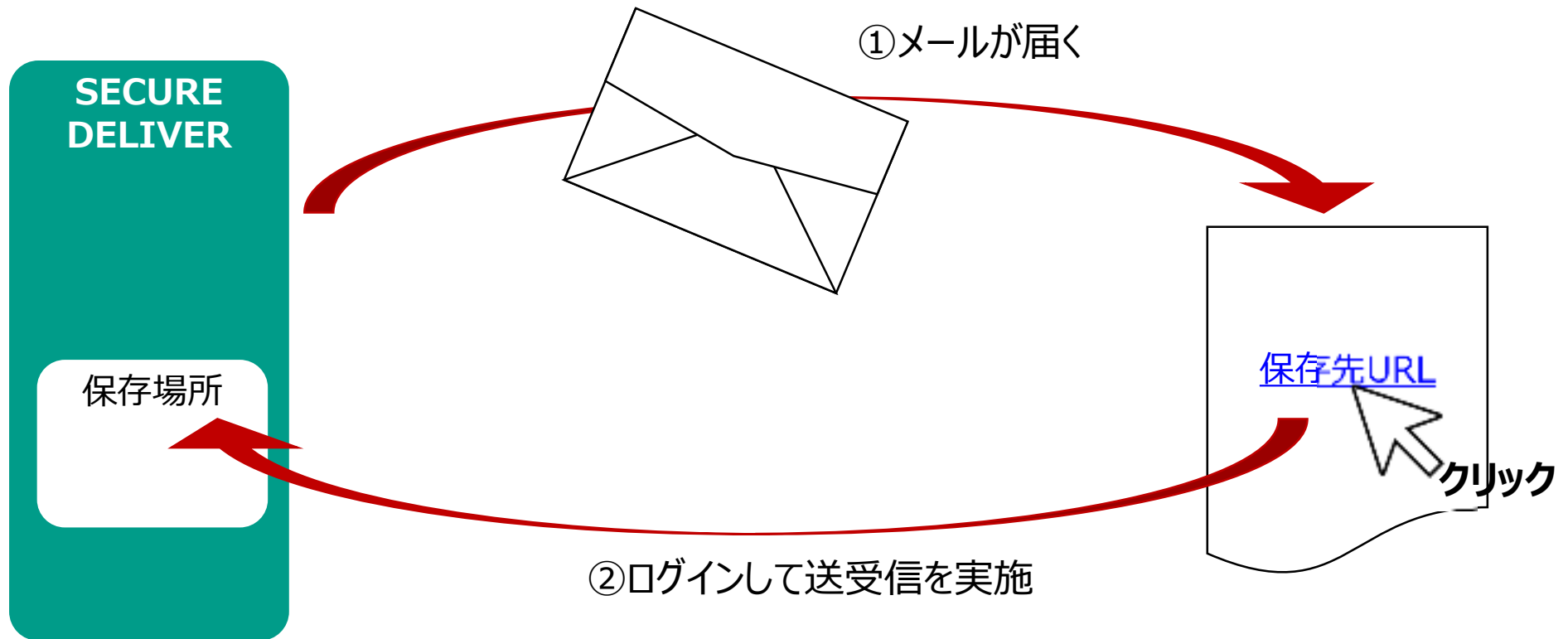
実施計画書には必要事項を記入し、**チェックを受けながら完成**することができます。



ファイル転送サービス  
**「SECURE DELIVER」**  
を使用します。

# ファイル転送サービス「SECURE DELIVER」

- メール送信のような、宛先の指定や資料の暗号化は必要ありません。
- 毎回メールで保存先のURLをお知らせするので、保存先に迷いません。
- パスワードも毎回メールで受け取るので、覚える必要はありません。



## ファイル転送サービス：メールが届く

まず、「**SECURE DERIVER**」よりメールが届きます。

### メール文例

[送信案内] 【SHIFT事業】事前チェックの申し込みを受け付けました

●●●●様

本メールはSHIFT事業運営事務局がSECURE DERIVERより送信しています。

事前チェックのお申し込みをいただき、ありがとうございます。

受付番号:6XXXでお申し込みを受け付けいたしました。

事前チェックを受ける「算定報告書・実施計画書」及び「CO2削減効果事前確認証」をお送りいたしますようお願いいたします。

⋮

以下のURLから返信いただけます。

<https://i-securedeliver/sd/eccj/jsf/login/>.....

ログイン画面上で「パスワード通知」ボタンをクリックしていただくことで、パスワードがメールに送信されます。

データ返信依頼があります。以下の日時までに上記URLからデータを返信してください。

返信期限： 2024/●●/●●

⋮

**URLをクリック**

## 1. 事前チェックのフロー

# ファイル転送サービス：ログインする

メール文のURLをクリックすると、ログイン画面が表示されます。

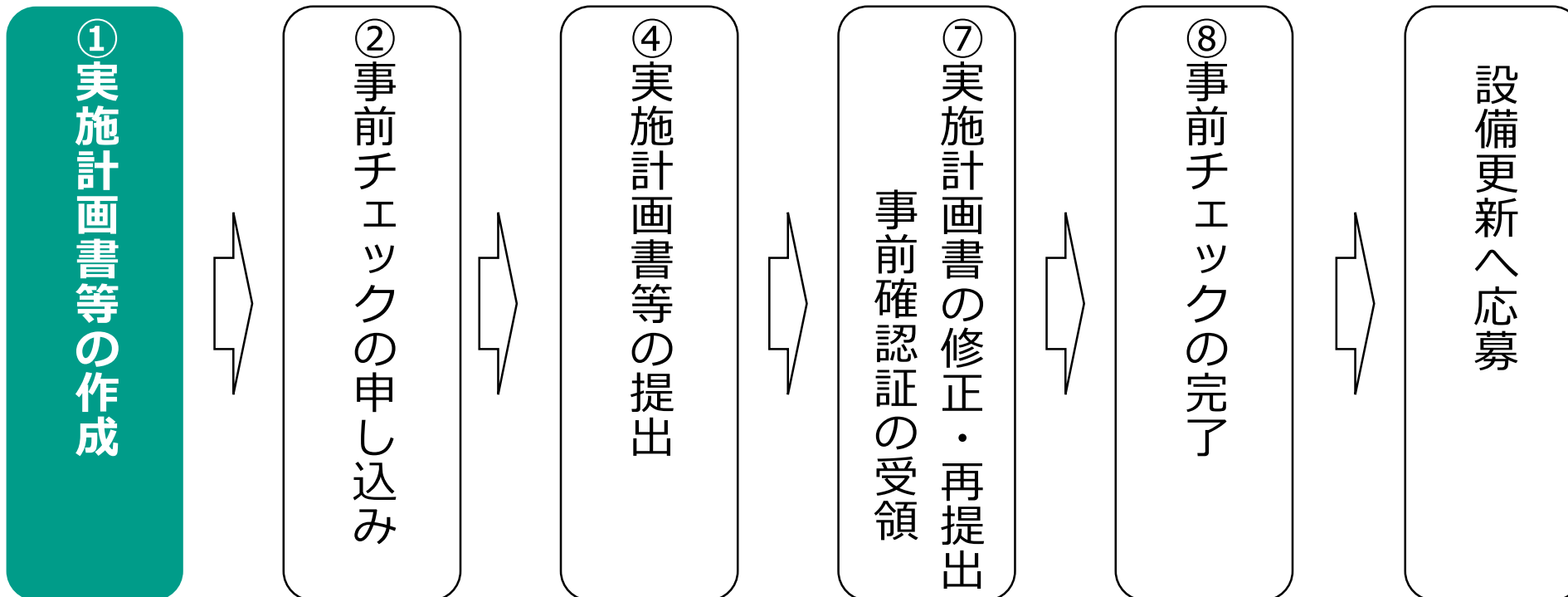
①「パスワード通知」をクリックする ⇒ ②パスワードがメールで送られてくる

The screenshot shows a web page titled "ゲストユーザーログイン" (Guest User Login). The page has a blue header with a mail icon and the title. Below the header, there is a main content area with a white background. At the top of this area, it says "パスワードをお忘れしてからログインしてください。" (Please login after forgetting your password.) and "ログインについて(FAQ)" (Login FAQ) and "Language 日本語" (Language Japanese). Below this, there is a yellow button labeled "パスワード通知" (Password Notification) and a text box that says "パスワードは「パスワード通知」をクリックするとメール送信されます。" (The password is sent by email when you click "Password Notification"). Below the text box is a white input field labeled "パスワード" (Password). Below the input field is a yellow button labeled "ログイン" (Login). At the bottom right of the main content area, there is a small icon and the text "利用環境" (Usage Environment). At the bottom of the page, there is a section titled "SYSTEM INFORMATION". Two red arrows point from the text boxes above to the "パスワード通知" and "ログイン" buttons respectively.

③パスワードを入力する ⇒ ④「ログイン」をクリックする



# 1. 事前チェックのフロー 事業者等の実施フロー



## 1. 事前チェックのフロー

# ① 実施計画書等の作成：様式のダウンロード

お申し込みの前に、必要書類を作成してください。

算定報告書・実施計画書  
(Excel)

実施計画書CO2削減効果  
事前確認証  
(Excel)

SHIFT事業 第4期 基準年度CO2排出量算定報告書  
(単独参加者用)

1. 基本情報  
目標保有者のうち主体的に削減を行う者に関する基本情報

目標保有者の名称	株式会社 ○○		
工場・事業場の名称	株式会社 ○○ ●●工場		
工場・事業場の所在地	△△県▽▽市◇◇町123-4		
事業所形態(工場/事業場)	工場		
分類番号・産業分類名 ※日本標準産業分類 (平成25年10月改定)より	111 製糸業、紡績業、化学繊維・ねん糸等製造業		
業種等 事業場の種類	主たる用途		
	建物の延床面積(m <sup>2</sup> )	0	m <sup>2</sup>
	事務所		m <sup>2</sup>

SHIFT 目標削減効果  
実施計画書CO2削減効果事前確認証

実施計画書	実施計画書ID		
事業番号	XXXXXX		
事業形態	株式会社 ○○	工場・事業場名	株式会社 ○○ ●●工場
支店名称	××株式会社		
確認対象の経路			
確認コメント(あれば記入)			
対象シート	※4回算定比較		
確認項目以外の確認内容・取書等			
確認項目	事業所/ 工場/事業場	確認結果	確認内容 該当箇所/内容・取書等
(A) 「基準年度」と「目標年度」 の算定が完了しているか。	自己確認		確認済み 確認済み
(B) 削減効果の変更などの確認によ るものがわかるように、「計 算書」の算定結果が「削減効果」 に、対応する「削減効果」 が記載されているか。			確認済み 確認済み

※以降「事前確認証」と記載します。

- ファイル名は、「申込受付、ファイル転送サービス案内」のメールに記載します。
- 書類の様式は、下記リンクの「5. 事前チェック関係資料」よりダウンロードしてください。

<https://www.eccj.or.jp/shift/check/index.html>

## 1. 事前チェックのフロー

### ① 実施計画書等の作成：必要記載箇所

算定報告書と実施計画書の構成シートが、1つのExcelファイルに集約されています。事前チェックに必要な箇所を記載してください（未記載の場合、再提出を求めます）。

#### 算定報告書

シート名	
1	基本情報等
2	敷地境界等
3	算定体制
4	排出源リスト
5	モニタリングポイント
6-1	CO2排出量①（工場・事業場全体）
6-2	CO2排出量②（工場・事業場全体）
6-3	CO2排出量③（工場・事業場全体）
6-4	CO2排出量_総括（工場・事業場全体）

     参考情報として記載するシート（必要項目のみ）

     チェック対象のシート（必要項目のみ）

※事前チェックには、    、    の箇所の記載が必要ですが、省CO2型設備更新への応募には、全シートの記載が必要です。

#### 実施計画書

シート名	
---	表紙
---	主要機器の排出量
513	設備CO2削減計画
524	設備構成比較
---	対策個票（冒頭～1項）
---	対策個票（2項）
---	対策個票（3項）
---	対策個票（4項）
---	対策個票（5項）
---	対策個票（6項）
---	対策個票（7項）
---	対策個票（8項）
---	対策個票（9項）
542	法定耐用年数
---	排出係数・単価表

対策個票  
の  
各項目

事前チェックに必要な記載箇所の詳細は、P35～P47及び「[事前チェックに必要な記載箇所](#)」を参照してください。

## ① 実施計画書等の作成：資料の活用

実施計画書の対策個票は、下記の資料をご参考に作成してください。

対策個票の書き方 ⇒ [実施計画書の対策個票 記入例](#)

《設備導入対策の記入例》

- ・ A 重油焚きボイラーから都市ガス焚きボイラーへの更新
- ・ パッケージエアコンの高効率型への更新
- ・ 都市ガス焚きボイラーからヒートポンプ給湯機への更新
- ・ コンプレッサーの高効率型への更新

CO2削減効果の算定水準 ⇒ [CO2削減対策の効果算定ガイドライン](#)

[CO2削減対策の効果算定ガイドラインの活用について](#)

空調機の年間活動量の算定 ⇒ [空調年間活動量算定ツール（EHP版）](#)

[空調年間活動量算定ツール（GHP版）](#)

# 1. 事前チェックのフロー

## ① 実施計画書等の作成：自己確認

実施計画書作成後、事前確認証で自己確認を行ってください。

SHIFT設備更新支援  
実施計画書002削減効果事前確認証

実施計画書	実施計画書C
事業番号	
事業者名	工場・事業場名
支援機関名	

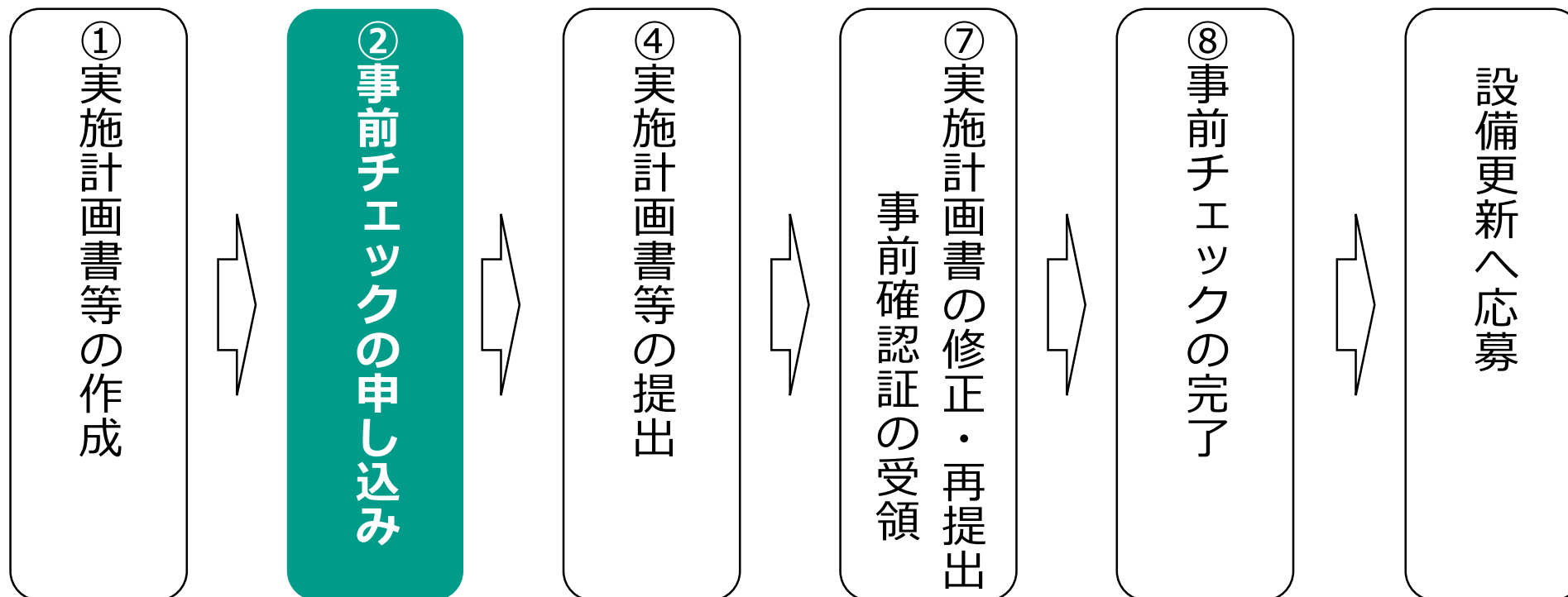
確認結果の総括	
補足コメント（あれば記入）	

対象シート	524設備構成比較			
確認項目以外の確認内容・助言等				
確認項目	事業者/ 支援機関	確認機関	事業者/支援機関	
	自己確認	確認結果	該当箇所/内容・助言等	修正対応 記録
(a) 「基準年度」と「対策実施後」の構成図が示されているか。 (b) 設備構成の変更がどの対策によるものかわかるように、「対策実施後」の構成図の該当箇所へ、対応する「対策番号等」が記載されているか。 (c) 設備の台数や能力を明示し、その他が対応する巻頭と整合しているか。	(選択してください)			(選択してください)

自己確認結果をプルダウンリストから選択する

対象シート	対策個別1			
確認項目以外の確認内容・助言等				
確認項目	事業者/ 支援機関	確認機関	事業者/支援機関	
	自己確認	確認結果	該当箇所/内容・助言等	修正対応 記録
3. 年間活動量の算出根拠 3-1. 活動量（エネルギー使用量） (a) 抜本的に適正な内容となっているか。 (b) 3-2に示す計算を理解しやすいように記述しているか。	把握方法・計算方法の説明・・・対策実施【前】 (選択してください)			(選択してください)

# 1. 事前チェックのフロー 事業者等の実施フロー



## 1. 事前チェックのフロー

### ②事前チェック申込

次の事前チェックのページにリンクのある「申込フォーム」に、必要事項を入力してお申し込みください。

<https://www.eccj.or.jp/shift/check/index.html>



工場・事業場における  
先導的な脱炭素化  
取組推進事業

### SHIFT事業省 CO2型設備更新支援 C.中小 企業事業【事前チェック】申込フォーム

こちらは

SHIFT事業（工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業）省CO2型設備更新支援 C.中小企業事業の【事前チェック】の申込フォームです。

省CO2型設備更新支援 C.中小企業事業 への応募を予定している事業者、または、事業者を支援している支援機関、事務代行者の方は、実施計画書のご提出の準備ができましたら、事前チェックにお申し込みください。

フォームのご記入の際に、ご不明の点がございましたら、下記宛にメールにてお問い合わせください。

SHIFT事業運営事務局  
一般財団法人省エネルギーセンター  
E-mail : [shift\\_check@eccj.or.jp](mailto:shift_check@eccj.or.jp)

#### 入力項目例

【事前チェックのご担当の情報】

- 法人名・部署名 等
- 氏名
- メールアドレス
- 電話番号

【応募する事業者・事業場の情報】

- 事業者名
- 工場・事業場名

他

## ③ 申込受付、ファイル転送サービス案内

申し込みの受付は、ファイル転送サービス「**SECURE DRIVER**」を使用します。  
「**SECURE DRIVER**」よりメールが届きます。（申込み後、2営業日以内）

### メール文例

[送信案内] 【SHIFT事業】事前チェックの申し込みを受け付けました

●●●●様

本メールはSHIFT事業運営事務局がSECURE DRIVERより送信しています。  
事前チェックのお申し込みをいただき、ありがとうございます。

受付番号: 6XXX でお申し込みを受け付けいたしました。

事前チェックを受ける「算定報告書・実施計画書」及び「CO2削減効果事前確認証」をお送りいたしますようお願いいたします。

なお、ファイル名はそれぞれ次のようにしてください。

- ・算定報告書・実施計画書のファイル名  
6XXX\_実施計画書J1
- ・CO2削減効果事前確認証のファイル名  
6XXX\_事前確認証J1

**受付番号とファイル名が記載されていますので、確認してください。**

以下のURLから返信いただけます。

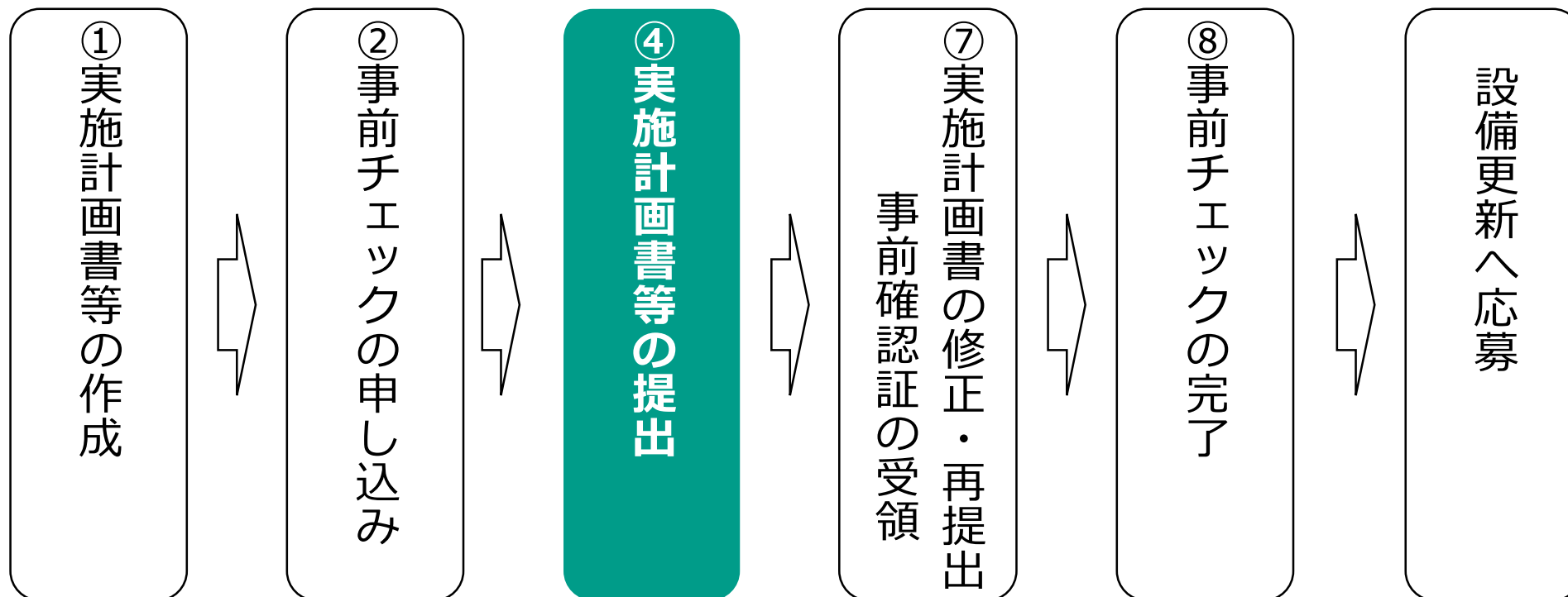
<https://i-securedeliver/sd/eccj/jsf/login/>.....

ログイン画面上で「パスワード通知」ボタンをクリックしていただくことで、パスワードがメールに送信されます。

**URLをクリック**



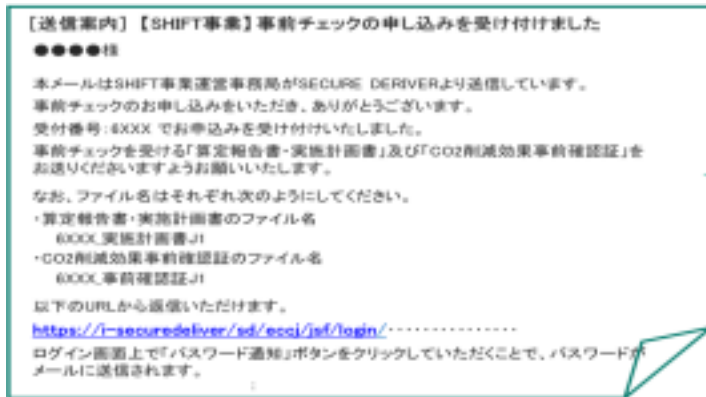
# 1. 事前チェックのフロー 事業者等の実施フロー



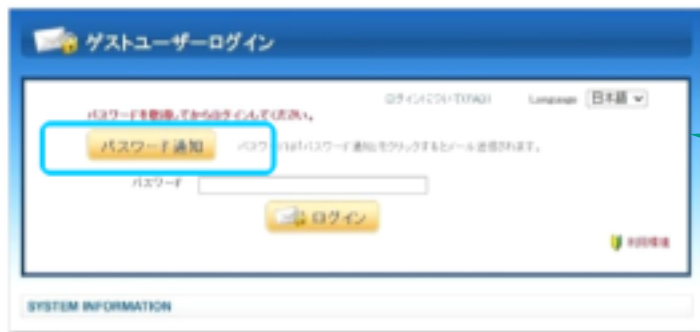
## 1. 事前チェックのフロー

# ④ 実施計画書等の提出：ファイル転送サービスにログイン

届いたメール文のURLをクリックして、ログインしてください。



メールが届くので、URLをクリック  
(申込受付のメールです)



パスワード通知をクリック



メールで届いたパスワードで  
ログイン

## 1. 事前チェックのフロー

### ④ 実施計画書等の提出：提出する（1）

ログインすると、返信画面が表示されます。

「返信する」をクリックする



## 1. 事前チェックのフロー

### ④ 実施計画書等の提出：提出する（2）

返信の入力ページが表示されます。

返信

送信

選択したデータを送信します。

データ選択

※ 送信データ制限: ①ファイル数: 0ファイル / 最大10ファイル  
②合計データサイズ: 0MB / 最大11.44GB

1

送信したいファイルを画面にドロップしてください  
※ファイルはサポート対象外です

2

ファイルを選択

※ダウンロード期限: 2025/06/31 24時まで(最大7日間設定できます。)

3

メッセージ

件名: Re:ファイルを送ります。

宛先: サイト 管理者

Out

自分に控えを送信する

※ メッセージ

※ 通知メール言語: 日本語 (お客がれた言語でメールを送信します。)

送信 キャンセル

ファイルをドラッグ&ドロップして  
実施計画書と事前確認証をアップロードする

メッセージを入力する

「送信」をクリックする

- 1 ファイルをドラッグ&ドロップする。  
または  
「ファイルを選択」ボタンを押してファイルを選択してください。
- 2 ダウンロード期限を設定します。
- 3 メッセージを入力してください。

# 1. 事前チェックのフロー

## ⑤ 実施計画書等の内容確認

運営事務局は、事前確認証の確認項目に沿って内容確認を行います。

対象シート	対策個票1	
確認項目以外の確認内容・助言等		
確認項目		<b>確認項目</b>
3. 年間活動量の算出根拠		<b>524設備構成比較</b>
3-1. 活動量(エネルギー使用量)把握方法	事業者/支援機関 自己確認	(a) 「基準年度」と「対策実施後」の構成図が示されているか。 (b) 設備構成の変更がどの対策によるものかがわかるように、「対策実施後」の構成図の該当箇所に、対応する「対策個票番号」が記載されているか。 (c) 設備の台数や能力を明示し、その値が対応する個票と整合しているか。
(a) 技術的に適正な内容となっているか。 (b) 3-2. に示す計算を理解しやすいように記述しているか。	確認済み	<b>対策個票</b>
3-2. 活動量(エネルギー使用量)の計算	確認済み	<b>3-1. 活動量(エネルギー使用量)把握方法・計算方法の説明・・・対策実施【前】</b> (a) 技術的に適正な内容となっているか。 (b) 3-2. に示す計算を理解しやすいように記述しているか。 <b>3-2. 活動量(エネルギー使用量)の計算・・・対策実施【前】</b> (a) 第三者が計算過程を追跡可能な記述となっているか。 (b) 活動量の把握方法が効果算定ガイドラインに示された水準を満たしているか。 (c) 保守的な算定を選択した場合、計算が保守的である根拠を説明しているか。 <b>3-3. 活動量(エネルギー使用量)の計算で使用した各数値の説明・根拠・・・対策実施【前】</b> (a) 当該施設の特性、使用条件であることが分かるように各数値の根拠を示しているか。計測値の場合、計測対象・期間・装置・条件等が明記されているか。 (b) 数値の単位は、SI単位で記述されているか。 (c) 係数や活動量の把握方法が効果算定ガイドラインに示された水準を満たしているか。
3-3. 活動量(エネルギー使用量)の計算で	確認済み	(a) 当該施設の特性、使用条件であることが分かるように各数値の根拠を示しているか。計測値の場合、計測対象・期間・装置・条件等が明記されているか。 (b) 数値の単位は、SI単位で記述されているか。 (c) 係数や活動量の把握方法が効果算定ガイドラインに示された水準を満たしているか。
3-4. 活動量(エネルギー使用量)把握方法・計算方法の説明・・・対策実施【計画】		<b>【重要】</b> 詳細は、P34～P46を参照ください。

## 1. 事前チェックのフロー

### ⑥ 事前確認証の返却：再提出が必要な場合

運営事務局は、ファイル転送サービス「**SECURE DRIVER**」を使用し、事前確認証を返却します。

#### メール文例

[送信案内] 【SHIFT事業】実施計画書の修正と再提出をお願いいたします

●●●●様

本メールはSHIFT事業運営事務局がSECURE DRIVERより送信しています。

チェックが完了しましたので、事前確認証を返却いたします。

要確認【重要】となっている箇所を修正いただき、修正した実施計画書を再提出いただきますようお願いいたします。

要確認【重要】となっている箇所がなくなるまで再提出を繰り返しますので、慎重に対応を進めてください。

なお、ファイル名は次のように、末尾の番号を変更してください。

- ・算定報告書・実施計画書のファイル名  
6XXX\_実施計画書J2
- ・CO2削減効果事前確認証のファイル名  
6XXX\_事前確認証J2

**ファイル名の末尾の番号を  
変更してください。**

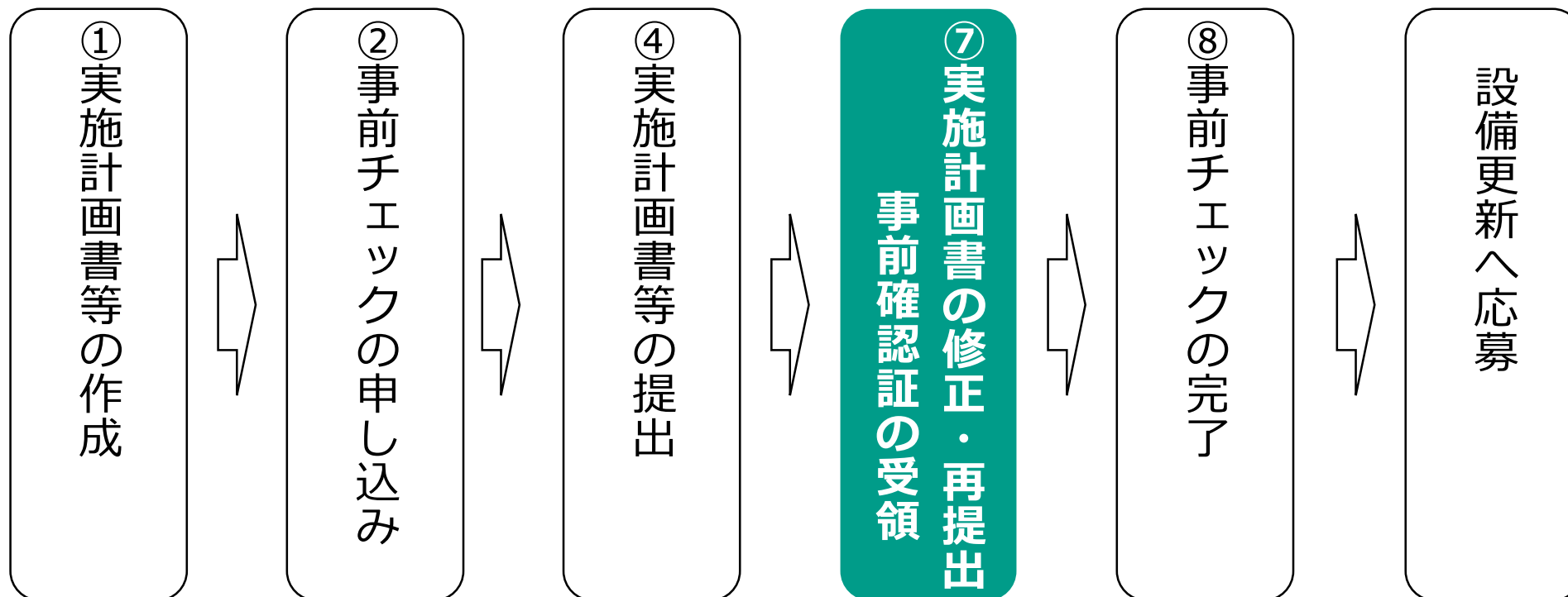
**URLをクリック**

以下のURLからダウンロードいただけます。

[https://i-securedeliver/sd/eccj/jsf/login/.....](https://i-securedeliver/sd/eccj/jsf/login/)

ログイン画面上で「パスワード通知」ボタンをクリックしていただくことで、パスワードがメールに送信されます。

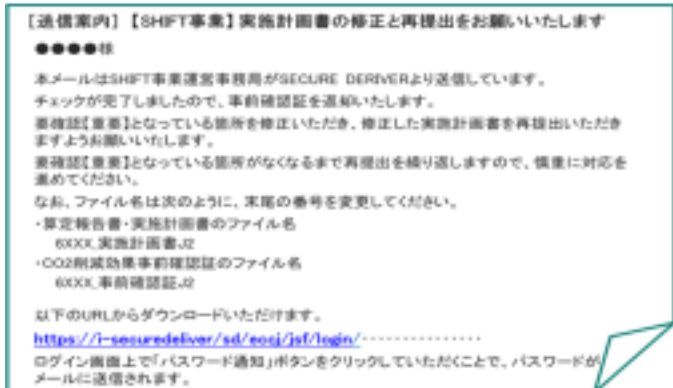
# 1. 事前チェックのフロー 事業者等の実施フロー



## 1. 事前チェックのフロー

# ⑦実施計画書等の修正等：ファイル転送サービスにログイン

届いたメール文のURLをクリックして、ログインしてください。



メールが届くので、URLをクリック  
(このメールは再提出まで保管)



パスワード通知をクリック



メールで届いたパスワードで  
ログイン



## 1. 事前チェックのフロー

# ⑦実施計画書等の修正等：事前確認証を受け取る

### 受信内容確認

データの引き取り(ダウンロード)を行うことができます。

データ引き取り

送信データ			
ファイル名	サイズ (MB)	引き取り可能回数	操作
[REDACTED]	1.85	5	<a href="#">ダウンロード</a>

引き取り期限：2024/01/16 23:59まで

データ返信

返信は一回のみ可能です。  
返信期限：2024/01/17 23:59まで

[返信する](#)

送信者からのメッセージ

送信日時： 2024年01月15日 16:18:04  
件名： テストの往復便  
送信者： SHIFT事業 運営事務局  
To： [REDACTED]  
Cc：  
メッセージ： [REDACTED]

「受信内容確認」画面で、「ダウンロード」をクリックすると、事前確認証をダウンロードできます。

# 1. 事前チェックのフロー

## ⑦ 実施計画書等の修正等：事前確認証の内容を確認する

返却された事前確認証において、確認結果に**要確認【重要】**がある場合は、再提出が必要です。実施計画書を修正いただき、再提出をお願いします。

確認結果の総括	「要確認【重要】」とした箇所があります。修正し再提出してください。 （「要確認【軽微】」と示されている箇所も、軽微な内容ですが確認し、修正してください。）
補足コメント（あれば記入）	

総括欄に「再提出してください。」等のコメントが記載されています。

対象シート	524設備構成比較	<b>確認結果</b>			
確認項目以外の確認内容・助言等					
確認項目	事業者/支援機関		確認機関	事業者/支援機関	
	自己確認	確認結果	該当箇所/内容・助言等	修正対応記録	修正対応に関する説明/確認機関への質問等
(a) 「基準年度」と「対策実施後」の構成図が示されているか。 (b) 設備構成の変更がどの対策によるものかわかるように、「対策実施後」の構成図の該当箇所に、対応する「対策個票番号」が記載されているか。 (c) 設備の台数や能力を明示し、その値が対応する個票と整合しているか。	確認済み	要確認【軽微】	指摘事項が記載されています。	(選択してください)	

対象シート	対策個票1	<b>「要確認【重要】」、「要確認【軽微】」の箇所は、指摘事項に対応し、実施計画書を修正してください。</b>			
確認項目以外の確認内容・助言等					
確認項目	事業者/支援機関		確認機関	事業者/支援機関	
	自己確認	確認結果	該当箇所/内容・助言等	修正対応記録	修正対応に関する説明/確認機関への質問等
<b>3. 年間活動量の算出根拠</b>					
<b>3-1. 活動量（エネルギー使用量）把握方法・計算方法の説明・・・対策実施【他】</b>					
(a) 技術的に適正な内容となっているか。 (b) 3-2 に示す計算を理解しやすいように記述しているか。	確認済み	要確認【重要】	指摘事項が記載されています。	(選択してください)	

# 1. 事前チェックのフロー

## ⑦実施計画書等の修正等：修正対応内容を記入する

実施計画書を修正後は、事前確認証に修正対応に関する説明を追記してください。

対象シート	524設備構成比較			
確認項目以外の確認内容・助言等				
確認項目	事業者/支援機関		事業者/支援機関	
	自己確認	確認結果	修正対応記録	修正対応に関する説明/確認機関への質問等
(a) 「基準年度」と「対策実施後」の構成図が示されているか。 (b) 設備構成の変更がどの対策によるものかわかるように、「対策実施後」の構成図の設備置所に、対応する「対策個数等」が記載されているか。 (c) 設備の台数や能力を明示し、その値が対応する個数と整合しているか。	確認済み	要確認 【軽微】	修正対応 記録	修正対応に関する説明/確認機関への質問等

**修正対応結果**


修正対応結果をプルダウンリストより選択してください。

対象シート	対策個数1			
確認項目以外の確認内容・助言等				
確認項目	事業者/支援機関		事業者/支援機関	
	自己確認	確認結果	修正対応記録	修正対応に関する説明/確認機関への質問等
3. 年間活動量の算出根拠 3-1. 活動量（エネルギー使用量）把握方法・計算方法の説明・・・対策実施【前】				
(a) 技術的に適正な内容となっているか。 (b) 3-2. に示す計算を理解しやすいように記述しているか。	確認済み	要確認 【重微】	修正対応 記録	修正対応に関する説明/確認機関への質問等

指摘事項ごとに修正対応に関する説明を記載してください。  
確認機関への質問等を記載してください。

## 1. 事前チェックのフロー

### ⑦実施計画書等の修正等：再提出する（1）

 受信内容確認

データの引き取り(ダウンロード)を行うことができます。

データ引き取り

送信データ			
ファイル名	サイズ (MB)	引き取り可能回数	操作
[Redacted]	1.85	5	<a href="#">ダウンロード</a>


引き取り期限：2024/01/16 23:59まで

データ返信

返信は一回のみ可能です。  
返信期限：2024/01/17 23:59まで

[返信する](#)

送信者からのメッセージ

送信日時： 2024年01月15日 16:18:04  
件名： テストの往復便  
送信者： SHIFT事業 運営事務  
To：  ku.ikeda@eccj.c  
Cc：  
メッセージ： [Redacted]

「受信内容確認」画面で、「返信」をクリックすると、返信の入力ページが表示されます。

※事前確認証の返却メールのURLを使用しますので、届いたメールは破棄しないでください。

## 1. 事前チェックのフロー

### ⑦実施計画書等の修正等：再提出する（2）

返信の入力ページが表示されます。

ファイルをドラッグ&ドロップして  
実施計画書と事前確認証をアップロードする。

メッセージを入力する

「送信」をクリックする

- 1 ファイルをドラッグ&ドロップする。  
または  
「ファイルを選択」ボタンを押してファイルを選択してください。
- 2 ダウンロード期限を設定します。
- 3 メッセージを入力してください。

## 1. 事前チェックのフロー

### ⑥ 事前確認証の返却：再提出の必要がない場合

運営事務局は、ファイル転送サービス「**SECURE DRIVER**」を使用し、事前確認証を返却します。

#### メール文例

[送信案内] 【SHIFT事業】事前チェックを完了しました

●●●●様

本メールはSHIFT事業運営事務局がSECURE DRIVERより送信しています。

事前チェックを完了しました。

事前確認証を返却いたしますので、ご確認ください。

要確認[軽微]となっている箇所は、省CO2型設備更新支援(C.中小企業事業)へ応募するまでに修正してください。

以下のURLからダウンロードいただけます。

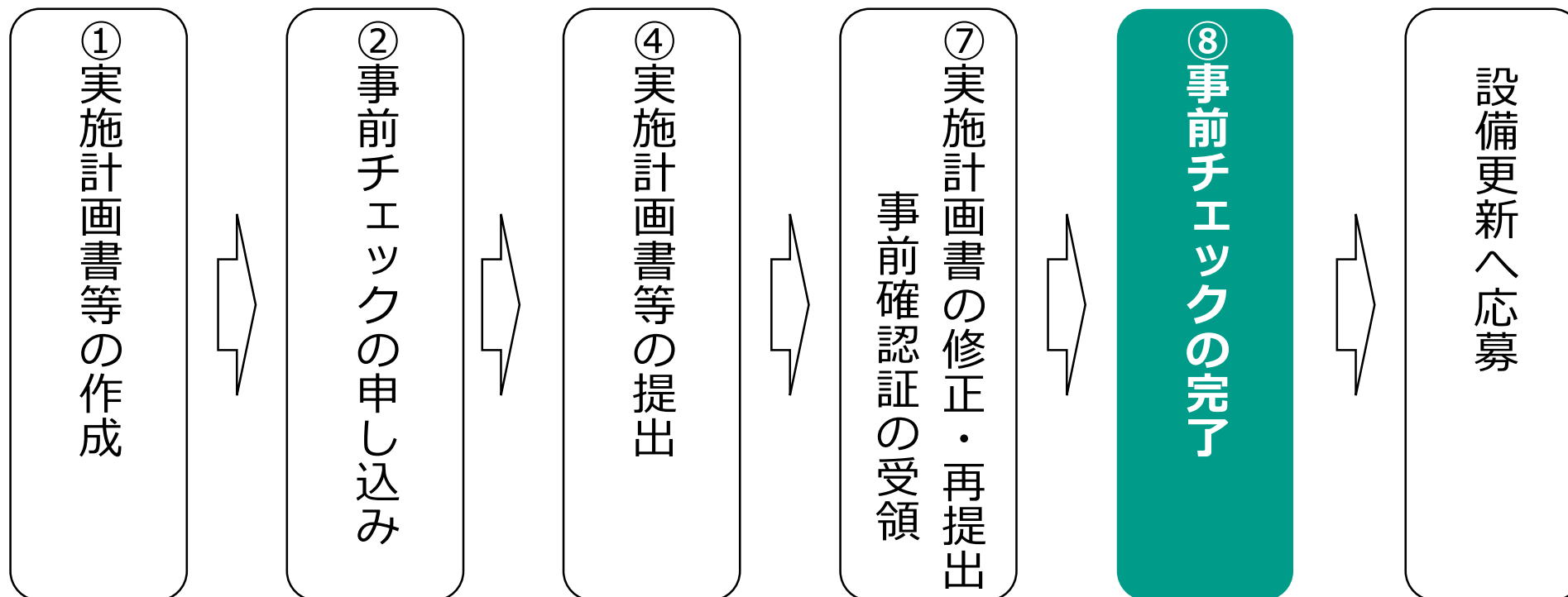
URLをクリック

[https://i-securedeliver/sd/eccj/jsf/login/.....](https://i-securedeliver/sd/eccj/jsf/login/)

ログイン画面上で「パスワード通知」ボタンをクリックしていただくことで、パスワードがメールに送信されます。

ダウンロード期限： 2024/●●/●●

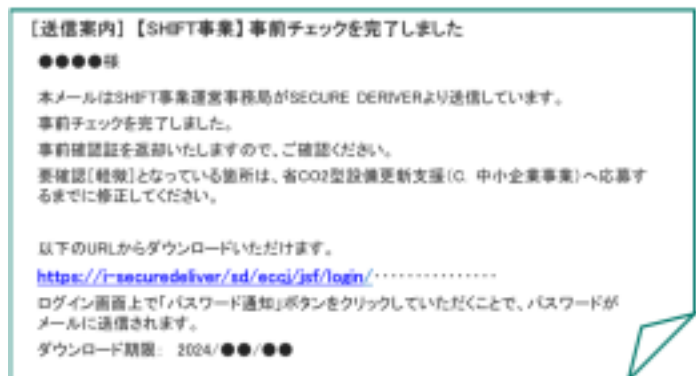
# 1. 事前チェックのフロー 事業者等の実施フロー



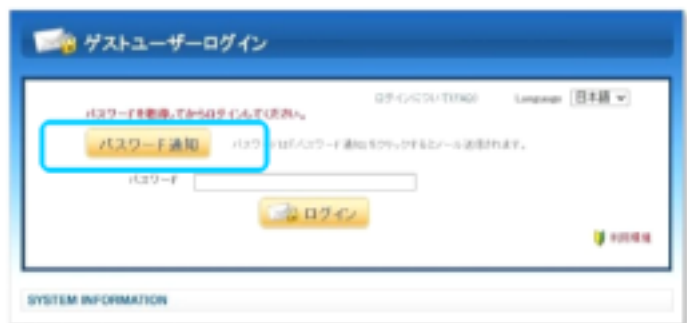
# 1. 事前チェックのフロー

## ⑧ 事前チェックの完了 : ファイル転送サービスにログイン

届いたメール文のURLをクリックして、ログインしてください。



メールが届くので、URLをクリック



パスワード通知をクリック



メールで届いたパスワードで  
ログイン



## 1. 事前チェックのフロー

# ⑧ 事前チェックの完了：事前確認証を受け取る

受信内容確認

データの引き取り(ダウンロード)を行うことができます。

データ引き取り

送信データ			
ファイル名	サイズ(MB)	引き取り可能回数	操作
テストファイル	0	5	ダウンロード

引き取り期限: 2023/06/21 23:59まで

送信者からのメッセージ

送信日時: 2023年06月14日 13:27:49

件名: ファイルを送ります。

送信者: [REDACTED]

To: [REDACTED]

Cc:

メッセージ: ファイルを送ります。

「受診内容確認」画面で、「ダウンロード」をクリックすると、事前確認証をダウンロードできます。





## はじめに

1. 事前チェックのフロー
- 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象**
3. 事前チェックに要する目安期間
4. 留意事項

## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「1.基本情報等」シート

#### SHIFT事業 第4期 基準年度CO2排出量算定報告書 (単独参加者用)

##### 1. 基本情報

目標保有者のうち主体的に削減を行う者に関する基本情報

目標保有者の名称		株式会社 ○○			
工場・事業場の名称		株式会社 ○○ ●●工場			
工場・事業場の所在地		△△県▽▽市◇◇町123-4			
業種等	事業所形態(工場/事業場)	工場			
	分類番号:産業分類名 ※日本標準産業分類 (平成25年10月改定)より	111 製糸業, 紡績業, 化学繊維・ねん糸等製造業			
	主たる用途				
	事業場の種類 (工場の場合は記入不要)	建物の延床面積(m <sup>2</sup> )		0	m <sup>2</sup>
		用途別内訳	事務所		m <sup>2</sup>
学校				m <sup>2</sup>	
ホテル				m <sup>2</sup>	
病院				m <sup>2</sup>	
	店舗		m <sup>2</sup>		

## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「表紙」シート

環境省 SHIFT事業

C02削減計画策定支援

実施計画書 C

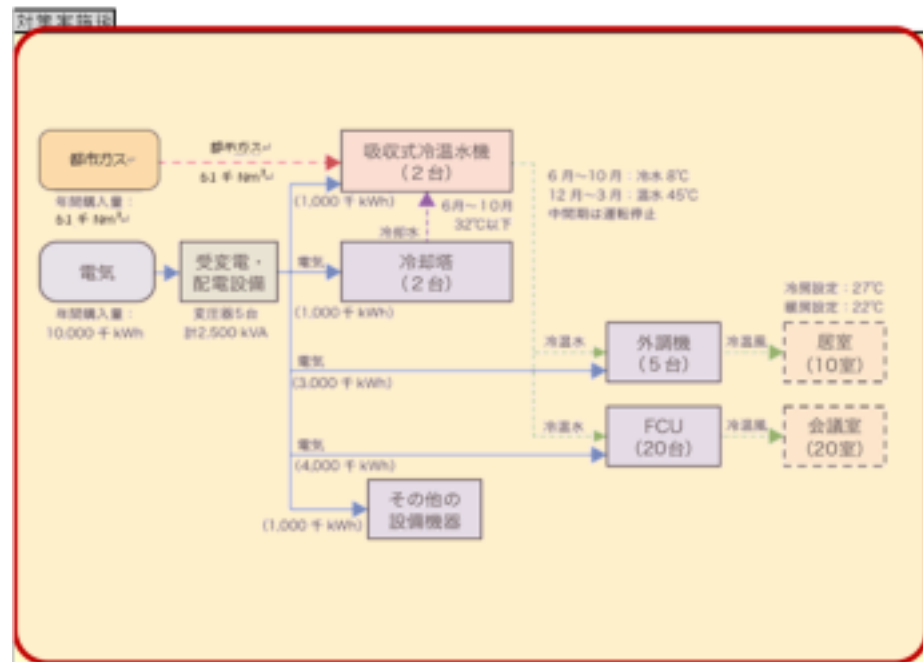
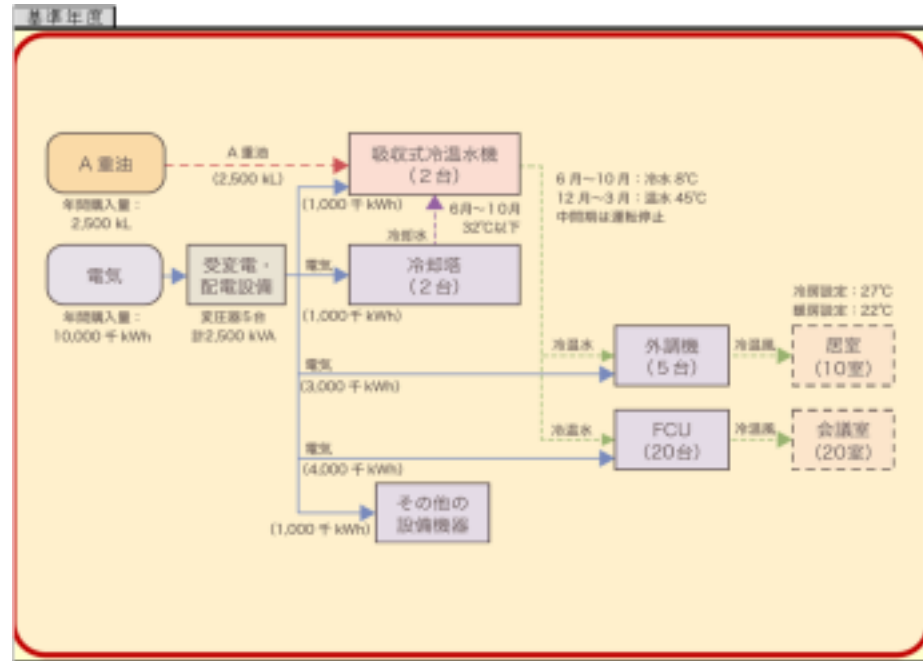
事業者 (目標保有者)		株式会社 ○○
工場・事業場		株式会社 ○○ ●●工場
業種	中分類	11 繊維工業
	小分類	111 製糸業, 紡績業, 化学繊維・ねん糸等製造業
主支援機関		××株式会社
副支援機関/ 共同支援機関		なし

## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「524設備構成比較」シート

#### 確認項目

(a)	「基準年度」と「対策実施後」の構成図が示されているか。
(b)	設備構成の変更がどの対策によるものかがわかるように、「対策実施後」の構成図の該当箇所に、対応する「対策個票番号」が記載されているか。
(c)	設備の台数や能力を明示し、その値が対応する個票と整合しているか。



## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「対策個票」シート

#### 冒頭 1. 対策概要

対策の種類 [対策個票番号]		対策名称		対策メニュー番号・メニュー名			
1	燃料低炭素化	ボイラーの燃料転換		12142	燃料転換（重油焚きからガス焚きボイラー）		
工程名		原料加熱		対象/ 既存設備	重油焚き蒸気ボイラー		
システム/ 設備区分名		蒸気システム（発生）		導入設備	ガス焚き蒸気ボイラー		
1. 対策概要							
現状と課題		1. 現用のボイラーが更新時期（耐用年数10年）を超えている。 2. 燃料にA重油を使用しており、CO2排出量が多い。					
対策の概要		A重油焚きボイラーから都市ガス焚きボイラーに更新することで、熱効率向上による燃料使用量の削減とCO2排出量の削減を目指す。					
対策の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 受診事業者からの診断要請あり		<input checked="" type="checkbox"/> 設備寿命による交換提案			
		<input checked="" type="checkbox"/> 推奨対策		<input type="checkbox"/> DXシステム	<input type="checkbox"/> DXシステム計測結果に基づく対策		
対策の 効果・効用		CO2削減 効果	57	t-CO2/年	運転コスト 削減効果	404	千円/年 (b)
		その他の 効果・効用	気体燃料に変更することにより燃焼時に発生するすすが低減される。 そのため、ボイラーの伝熱面が汚れにくくなり効率低下の防止につながる。 さらに、定期的なスートブロー（すす吹き）等の作業回数を減らすことができる。				
導入コストと投資回収年数		導入コスト	2,000	千円 (a)	単純投資 回収年数	5.0	年 (a/b)
活用可能な 補助制度		1		名称			環境省SHIFT事業 設備更新補助金
		1		概要			
		2		名称			
		2		概要			



## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「対策個票」シート

#### 2. 削減効果根拠

削減効果の算出								
前	活動種別	年間活動量	変換係数	CO2排出量 (t-CO2/年)	単価(千円)	運転コスト (千円/年)		
対策実施【前】	A重油	72 kl	2.754 t-CO2/kl	198	70	5,040		
				合計(f1)	198	合計	5,040	
	脱炭素化指標(状況)			その他の運転コスト (運転・管理費、用水費、薬品費等)			その他運転コスト (千円/年)	
	CO2排出量(f1)	198 t-CO2/年		ボイラー定期点検費用			30	
	エネルギー消費量(g1)	2,801 GJ換算値/年						
	脱炭素化指標(状況)	0.0708 (f1)/(g1)		運転コスト合計			5,070	
計画	活動種別	年間活動量	変換係数	CO2排出量 (t-CO2/年)	単価(千円)	運転コスト (千円/年)		
対策実施【計画】	都市ガス	61 千Nm3	2.3085 t-CO2/千Nm3	141	76	4,636		
				合計(f2)	141	合計	4,636	
	脱炭素化指標(状況)			その他の運転コスト (運転・管理費、用水費、薬品費等)			その他運転コスト (千円/年)	
	CO2排出量(f2)	141 t-CO2/年		ボイラー定期点検費用			30	
	エネルギー消費量(g2)	2,745 GJ換算値/年						
	脱炭素化指標(状況)	0.0513 (f2)/(g2)		運転コスト合計			4,666	

## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「対策個票」シート

### 3. 年間活動量の算出根拠

#### 確認項目

#### 対策実施【前】

<b>3-1. 活動量(エネルギー使用量)把握方法・計算方法の説明・・対策実施【前】</b>	
(a)	技術的に適正な内容となっているか。
(b)	3-2.に示す計算を理解しやすいように記述しているか。
<b>3-2. 活動量(エネルギー使用量)の計算・・・対策実施【前】</b>	
(a)	第三者が計算過程を追跡可能な記述となっているか。
(b)	活動量の把握方法が効果算定ガイドラインに示された水準を満たしているか。
(c)	保守的な算定を選択した場合、計算が保守的である根拠を説明しているか。
<b>3-3. 活動量(エネルギー使用量)の計算で使用した各数値の説明・根拠・・対策実施【前】</b>	
(a)	当該施設の特性、使用条件であることが分かるように各数値の根拠を示しているか。計測値の場合、計測対象・期間・装置・条件等が明記されているか。
(b)	数値の単位は、SI単位で記述されているか。
(c)	係数や活動量の把握方法が効果算定ガイドラインに示された水準を満たしているか。

#### 3. 年間活動量の算出根拠

##### 対策実施【前】

##### 3-1. 活動量(エネルギー使用量)把握方法・計算方法の説明

1. 購入したA重油は全て既設のA重油蒸気ボイラ(1台)で使用しているため、直近3年度間の購入量と在庫量からA重油の年間使用量を計算した。
2. 既設ボイラーの発生熱量は、A重油使用量にA重油の低位発熱量を乗じて求めた。

##### 3-2. 活動量(エネルギー使用量)の計算

- ① 3年度間のA重油使用量 = 3年度初頭の在庫量 + 3年度間の合計購入量 - 3年度末の在庫量  

$$= 12 + 220 - 16$$

$$= 216 [\text{kL}]$$
- ② A重油の年間使用量 = 3年度間のA重油使用量 ÷ 3  

$$= 216 [\text{kL}] \div 3 [\text{年}]$$

$$= 72 [\text{kL/年}]$$

##### 3-3. 活動量(エネルギー使用量)の計算で使用した各数値の説明・根拠

- ① ○○年4月から○○年3月までの3年度間のA重油の購入量と在庫量の記録から、A重油の年間使用量を求めた。(在庫量を示す。)

2回購入)

## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「対策個票」シート

### 3. 年間活動量の算出根拠

対策実施【計画】	
3-4. 活動量（エネルギー使用量）把握方法・計算方法の説明	都市ガスボイラーが、A重油ボイラーと同量の熱量を発生するために必要とする都市ガス（13A）の量を、対策実施前後のボイラー効率の比と低位発熱量の比から求めた。
3-5. 活動量（エネルギー使用量）の計算	
① A重油ボイラーの年間発生熱量	$= \text{A重油の年間使用量} \times \text{A重油の低位発熱量} \times \text{A重油ボイラーの効率}$ $= 72[\text{kL/年}] \times 36.73[\text{GJ/kL}] \times 0.90$ $= 2,380[\text{GJ/年}]$
② 都市ガスの年間使用量	$= \text{A重油ボイラーの年間発生熱量} \div \text{都市ガスボイラーの効率} \div \text{都市ガスの低位発熱量}$ $= 2,380[\text{GJ/年}] \div 0.96 \div 40.63[\text{GJ/千Nm}^3]$ $= 61[\text{千Nm}^3/\text{年}]$
3-6. 活動量（エネルギー使用量）の計算で使用した各数値の説明・根拠	<p>ボイラーの仕様書を参照した。            効率：90[%]</p> <p>SHIFT事業「CO2削減対策の効果算定ガイドライン」で認められた資源エネルギー庁「熱量・炭素排出係数（2018年度改訂）の解説（2022年11月更新）」によった。            36.73[GJ/kL]</p> <p>熱量は、ガス会社の公表値を参照した。            熱量：40.63[GJ/千Nm<sup>3</sup>]</p> <p>ボイラーの仕様書を参照した。            効率：96[%]</p>

### 確認項目

#### 対策実施【計画】

#### 3-4. 活動量（エネルギー使用量）把握方法・計算方法の説明・対策実施【計画】

- (a) 技術的に適正な内容となっているか。
- (b) 3-5.に示す計算を理解しやすいように記述しているか。

#### 3-5. 活動量（エネルギー使用量）の計算・対策実施【計画】

- (a) 第三者が計算過程を追跡可能な記述となっているか。
- (b) 活動量の把握方法が効果算定ガイドラインに示された水準を満たしているか。
- (c) 保守的な算定を選択した場合、計算が保守的である根拠を説明しているか。

#### 3-6. 活動量（エネルギー使用量）の計算で使用した各数値の説明・根拠・対策実施【計画】

- (a) 当該施設の特長、使用条件であることが分かるように各数値の根拠を示しているか。計測値の場合、計測対象・期間・装置・条件等が明記されているか。
- (b) 数値の単位は、SI単位で記述されているか。
- (c) 係数や活動量の把握方法が効果算定ガイドラインに示された水準を満たしているか。

## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「対策個票」シート

#### 4. 実施方法 4-2

4-2. [設備導入等] 既存設備と導入設備の仕様（能力等）比較、及び導入設備の能力が適切であることの説明  
[運用改善等] 対策実施前後の運用条件の比較、及び対策が問題なく実行できることの説明

##### 既存設備と導入設備の仕様比較

項目	単位	既存設備	導入設備
メーカー名	-	A社	B社
型式	-	AAA	BBB
使用燃料	-	A重油	都市ガス13A
相当蒸気量	kg/h	750	750
ボイラー効率	%	90	96
最大使用圧力	MPa	0.98	0.98

##### 導入設備の能力の適切性

導入設備の設備容量（相当蒸気量）は750[kg/h]であり、既存設備の相当蒸気量750[kg/h]と同等である。また、導入設備の最大使用圧力も、既存設備の最大使用圧力の0.98[MPa]と同等である。

## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「対策個票」シート

#### 6. 更新設備仕様・見積書

6. 更新設備仕様・見積書

1. 更新設備仕様  
メーカー B社  
台数 1台  
L2-Tech認証品

表6.1 更新ボイラー仕様

項目	単位	仕様
ボイラー仕様		
メーカー	-	B社
型式	-	BBB
制御方式	-	電気式四位差制御
使用燃料	-	都市ガス13A
相当蒸気量	kg/h	750
台数	台	2
ボイラー効率	%	95
最大使用圧力	MPa	0.98
定給燃料消費量	Nm <sup>3</sup> /h	43.4
設備電力	kW	3.8
使用方法		
給水温度	℃	15
使用圧力	MPa	0.70
運転時間	h/年	
既定年間蒸気量	t/年	880
燃料使用量	千Nm <sup>3</sup> /h	61

パラメータ設定、日報・月報・年報作成、監視、各種故障保有  
エコマイザー装備  
法務区分 小型ボイラー

**事前チェック時は、見積書不要**

見積書を、巻末1別紙3に示す。(※本記入例では掲載省略)

## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「対策個票」シート

### 7. 報告時のCO2排出量算定のための活動量把握方法

#### 確認項目

<b>7-1. 活動量(エネルギー使用量)把握方法・計算方法の説明・・・対策実施【後】</b>	
(a)	技術的に適正な内容となっているか。
(b)	7-2.に示す計算を理解しやすいように記述しているか。
<b>7-2. 活動量(エネルギー使用量)の計算・・・対策実施【後】</b>	
(a)	第三者が計算過程を追跡可能な記述となっているか。
(b)	活動量の把握方法が効果算定ガイドラインに示された水準を満たしているか。
<b>7-3. 活動量(エネルギー使用量)の計算で使用した各数値の説明・根拠・・・対策実施【後】</b>	
(a)	当該施設の特性、使用条件であることが分かるように各数値の根拠を示しているか。計測値の場合、計測対象・期間・装置・条件等が明記されているか。
(b)	数値の単位は、SI単位で記述されているか。
(c)	係数や活動量の把握方法が効果算定ガイドラインに示された水準を満たしているか。
<b>7-4. 活動量(エネルギー使用量)の計算で使用した各数値のうち、実績値を使用する数値の記録方法・・・対策実施【後】</b>	
(a)	実績値の把握に用いるデータの情報源(証憑となる書類)、および数値の抽出・記録方法を、事業者が自ら対応できるように平易かつ具体的に記載されているか。

#### 7. 報告時のCO2排出量算定のための活動量把握方法 (※実施計画書A/Bの場合は作成不要)

<b>対策実施【後】</b>	
<b>7-1. 活動量(エネルギー使用量)把握方法・計算方法の説明</b>	
①	導入した都市ガスボイラーにガスメーターを設置し、ボイラー稼働日の都市ガス使用量[m3]を計測する。
②	都市ガス使用量を計測した日のガスメーター設置場所付近の気温(計測時温度[°C])を計測する。
③	都市ガスの契約状況に合わせたゲージ圧[kPa]と計測時温度[°C]を用いて、標準状態の値[Nm3]に換算する。 ※ ○○ガスとの中圧供給契約内容により、ゲージ圧は0.981[kPa]を用いる。
<b>7-2. 活動量(エネルギー使用量)の計算</b>	
①	都市ガスボイラーのボイラー稼働日の都市ガス使用量[Nm3] =標準状態換算係数[Nm3/m3]×都市ガス使用量[m3] = {(101.325[kPa]+ゲージ圧[kPa])/101.325[kPa]} × {273.15[°C]/(273.15[°C]+計測時温度[°C])} ×都市ガス使用量[m3] = {(101.325[kPa]+0.981[kPa])/101.325[kPa]} × {273.15[°C]/(273.15[°C]+計測時温度[°C])} ×都市ガス使用量[m3] = 1.00968 × {273.15[°C]/(273.15[°C]+計測時温度[°C])} × 都市ガス使用量[m3] ※ 計測時温度が15[°C]のときの標準状態換算係数は0.957[Nm3/m3]である。
②	都市ガスボイラーの都市ガス年間使用量[Nm3/年]=年間集計Σ(ボイラー稼働日の都市ガス使用量[Nm3/日])
<b>7-3. 活動量(エネルギー使用量)の計算で使用した各数値の説明・根拠</b>	
導入した都市ガスボイラーに設置するガスメーターは、以下の通りである。 メーカー名: ○○精機 型式型番: AA-1234 精度等級: E01.5 精度管理方法: 毎年3月に○○計器により校正	
ガスメーター設置場所付近の気温(計測時温度)を計測する温度計は、以下の通りである。 メーカー名: ○○測器 型番型式: デジタル温度計T-123 精度管理方法: 毎年3月に○○計器により校正	
<b>7-4. 活動量(エネルギー使用量)の計算で使用した各数値のうち、実績値を使用する数値の記録方法</b>	
①	都市ガスボイラーの稼働日の都市ガス使用量[m3]と計測時温度[°C]と標準状態換算値[Nm3]を、運転日誌に記録する。
②	運転日誌に記載の都市ガス使用量[m3]と標準状態換算値[Nm3]を毎月集計し、月例記録簿に記録する。
③	月例記録簿に記載の都市ガス使用量[m3]と標準状態換算値[Nm3]を毎年集計し、年度記録簿に記録する。

## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「対策個票」シート

#### 9. 既存診断利用の場合の参照事項 (既存の診断報告書がない場合は対象外)

##### 確認項目

9-1. 既存診断報告書の該当対策、9-2. 既存診断報告書からの修正事項、9-3. 修正理由、9-4. 修正方法	
(a)	本対策の算定の元となった既存の診断報告書がある場合、必要な内容を記載したか。

9. 既存診断利用の場合の参照事項（※実施計画書A/Bの場合は作成不要）	
9-1. 既存診断報告書の該当対策	○の年度 SHIFT事業 計画策定支援の実施計画書の対策個票1「ボイラーの燃料転換」を参照した。
9-2. 既存診断報告書からの修正事項	導入する都市ガスボイラーの機種を変更した。 ○の年度の実施計画書：B社の型式AAA
9-3. 修正理由	○の年度の実施計画書受領後に、さらに高効率の都市ガスボイラー（型式BBB）が発売されたため。 型式AAAのボイラー効率：94% 型式BBBのボイラー効率：96%
9-4. 修正方法	対策実施【計画】において、都市ガスボイラーの効率を0.94から0.96に変えて再計算した。
<b>該当する場合に記載 (既存診断報告書も併せて提出)</b>	

## 2. 事前チェックに必要な記入箇所及びチェック対象

### 「排出係数・単価表」シート

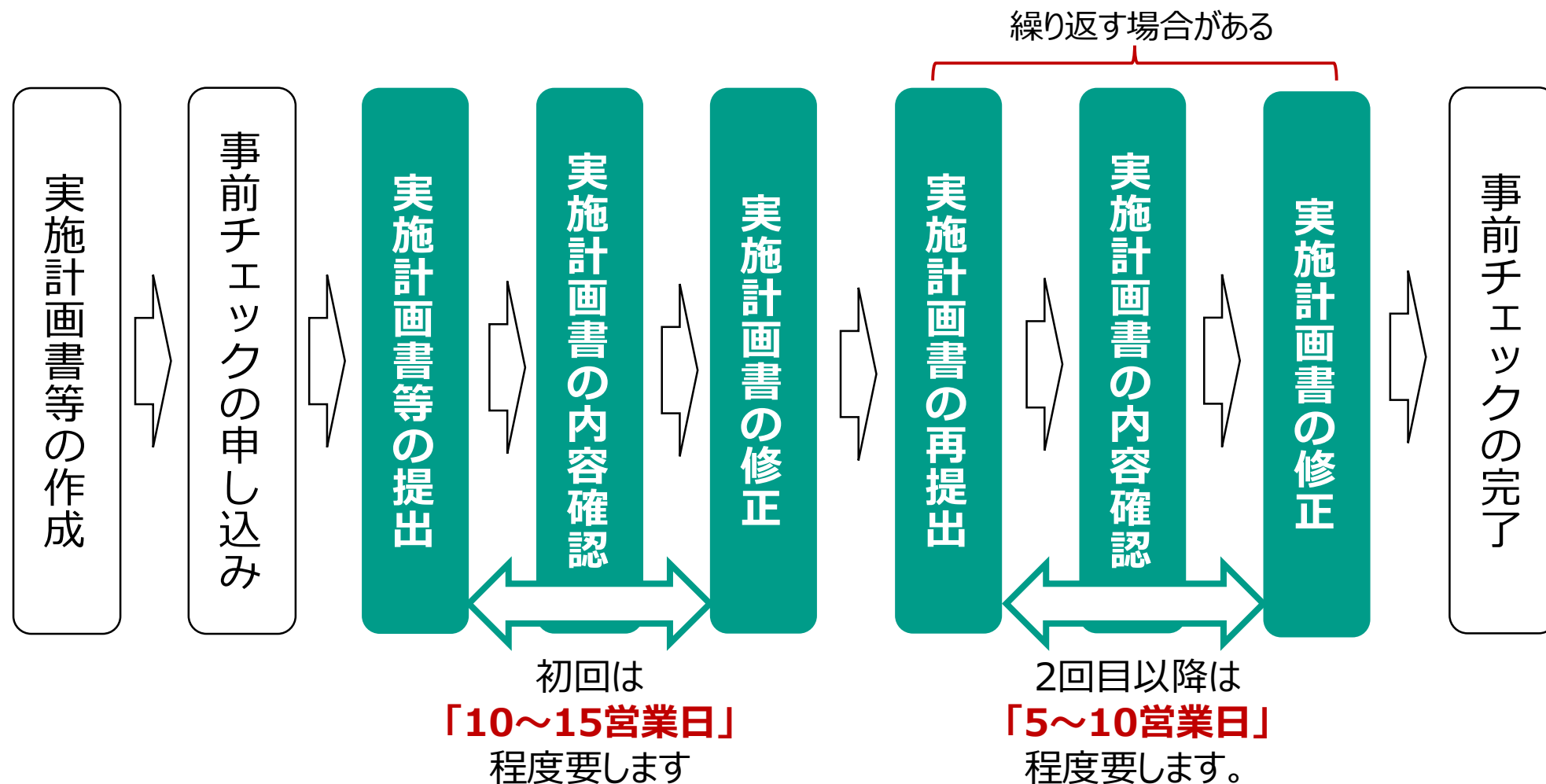
5. 実施計画書	54. 詳細資料・根拠資料
排出係数・単価表	

活動種別	単位発熱量		CO2排出係数		単価	
	単位	係数	単位	係数	単位	単価
系統電力①	kWh	---	---	0.000436	t-CO2/kWh	千円/kWh
系統電力②	kWh	---	---	0.000436	t-CO2/kWh	千円/kWh
重油	kl	38.90	GJ/kl	0.0708	t-CO2/GJ	千円/kl
PG	t	50.10	GJ/t	0.0601	t-CO2/GJ	千円/t
(未選択)						
(未選択)						
(未選択)						
(未選択)						
(未選択)						
(未選択)						
(未選択)						



### 3.事前チェックの目安期間

実施計画書の内容確認には、初回の場合で10～15営業日程度、2回目以降の場合で5～10営業日程度を要します。余裕を持った日程計画をたててください。



## ご協力をお願い

事前チェックの円滑な実施のために、下記の事項にご協力ください。

- **実施計画書は、第三者が読んで速やかに理解できるように記述してください。**理解しにくい記述は、内容確認に時間を要するだけでなく、内容不明で再提出していただくこともあります。ご提出前に、複数の方が目を通す等、ご確認をお願いいたします。
- **実施計画書の様式の各シートの右側の「記入例及び注記」を参照し、記入してください。**特に、対策個票シートの「3. 年間活動量の算出根拠」の記入欄に、「別紙のとおり」のみが記述されている場合は、内容確認に時間を要するだけでなく、誤認の元にもなります。「記入例及び注記」の『別紙シートを利用する場合の注記』に沿って記述してください。
- **別紙を使用する場合は、なるべく1シートで完結するようにしてください。**別紙から別の別紙を参照したり、計算式がシート間をまたがったりと複雑化しますと、内容を理解するまでに多くの時間を要します。

## 4. 留意事項

- 本事前チェックは、SHIFT事業 省CO2型設備更新支援「C. 中小企業事業」に応募予定の案件に対して実施するもので、チェックの結果は「C. 中小企業事業」においてのみ有効です。

なお、事前チェック完了後に、SHIFT事業で使用する単位発熱量やCO2排出係数が変更となった場合は、当該数値の変更に伴う削減量の修正をお願いすることがあります。

- 同一の事業者または支援機関・事務代行者が複数の事前チェックを申し込む場合は、原則として1件ずつ対応（最初の案件のチェック完了後に、次の案件のチェックを実施）いたします。
- 事前チェックの対象は「C. 中小企業事業に申請する補助対象設備の更新対策」のみです。自主的対策（運用改善等補助対象外の対策）は事前チェックの対象に含まれません。
- CO2削減効果の算定は、「CO2削減対策の効果算定ガイドライン」で認められる水準を満たすことが求められます。

※ 「CO2削減対策の効果算定ガイドライン」は、下記リンクの「5. 事前チェック関係資料」に掲載しています。

<https://www.eccj.or.jp/shift/check/index.html>



## お問合せ先

一般財団法人省エネルギーセンター

SHIFT事業 運営事務局

E-mail : [shift\\_check@eccj.or.jp](mailto:shift_check@eccj.or.jp)

**SHIFT**